



レンコン田で

泥まみれ作業

鳴門でプロジェクト

鳴門市大津町段関で9日、自然再生型農業プロジェクト「えんたのれんこん2010」が始まった。レンコンの植え付けから収穫までを体験する催しで、この日は子供ら約80人が参加。みんなでレンコン田に入り、全身泥まみれになって大はしゃぎした。

畑の畝を整えて肥料をまいた後、一面に水が張られた。お待ちかねの「田舟レース」が始まると、みんなで田の中を駆け抜ける。写真。舟の引き手も乗り手も思いっきり泥をかぶる。バランスを崩してひっくり返る舟もあった。

「どろんこフラッグ」も試みた。走り込んでゴールにある草を誰よりも早く取るゲームだ。最後にみんなの体でならした田に種を植えた。

「えんた」はその昔、水路と水田の間にあった「縁田」のこと。人と人をつなぐ「縁のある田」にしようと、2008年に徳島大環境防災研究センターの田代優秋さんらが企画。主催の「えんたのれんこん推進会議事務局」は今年も生物観察やナシ狩り、田の泥上げや収穫祭などの催しを計画している。問い合わせは事務局（088・656・9132）へ。